



PayPay、メルペイ、LINE Payの3社がセブン-イレブンで相乗り



PayPay、メルペイ、LINE

Payの3社が合同でキャンペーンを実施することになった。これまで競争相手としてつばぜり合いを演じていたが、今回の協力を機に競争環境は変わるのか。

セブン-イレブンがスマホ決済をスタート

PayPay、メルペイ、LINE

Payの3社は、セブン‐イレブン・ジャパンが展開するコンビニ・セブン-イレブン約2万店で、3社合同キャンペーン「最大20%戻ってくる！キャンペーン」を7月11日から21日まで実施する。

3社ともに、キャンペーン期間中にコード決済をすると1000円を上限に支払額の20%を還元する。3社合同のキャンペーンは今回が初めてで、8月12日からは第2弾のキャンペーンも予定している。

セブン-イレブンはこれまでスマートホン決済サービスを導入していなかったが、2019年7月1日から3社の決済サービスが同時に利用できるようになる。

PayPayによると、これを記念してセブン-イレブンとPayPay、メルペイ、LINE

Payの3社で協議した結果、「インパクトのあるキャンペーンを実施して、キャッシュレス化を推進していきたいという思いから合同キャンペーンの実施に至った」という。

このため3社がシェア争いをするのではなく「今までスマホ決済に挑戦できていなかった方にもチャレンジしていただくきっかけとなれば」（PayPay）と目標は穏やかだ。

今回のセブン-イレブンのように店舗を混じえた企画では、相乗り現象が起こることが実証されたわけで、店舗側の販促活動の一環として同様の取り組みが再現される可能性はありそう。

消費者はどのような反応を示すのか。狙い通りのスマホ決済に踏み切る人が増えるのか、それとも空振りに終わるのか。7月11日に関心が集まる。

文：M&A online編集部